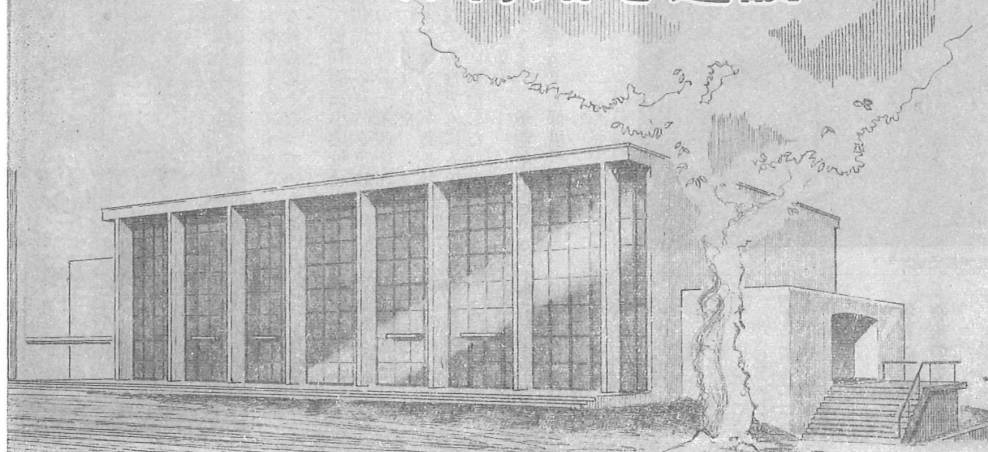


二宮小に体育館を建設



二宮小学校体育館の完成予想図

学校施設の整備に

全力投球

昨年の石油バツ以来、総需要の抑制策が続けられている社会情勢のなかで、教育はゆるがせにできなかつた強い教育行政の方針から、一色小学校の体育館建設に続いて、本年度第一回定例議決で、二色小学校に体育館建設の議決を経て、着々とその準備を進めてきました。

しかし、異常物価高により、厳しい現実に直面しましたが、今、全力投球をもつて建設のための準備を急ピツチで進めています。

建設を計画

学校体育館はすでに、中学校では完備されています。一方、小学校では一色小中学校に比べて昨年、建築面積九九九・二四平方メートル屋根、二見三段片屋根、外装、ラミネート、地下地中二階の地下鉄駅新築内容をもっと建設したましたが本年度は、二宮小中学校に体育館を建設いたします。

第一回例町議会議決はされませんが、地方目法に従って町条例規定で所定の用地については、他の町の事業等については、例約上議の議決を必要とされています。

これにたいし現在、最終的な計画を進めています。

している場所

体育館の建設しようとする所は、校庭の東側に在る公民館と並行し南北に建設しようとするもので、校舎・体育館の通路の間に、渡り道を接し、機能の一元化を図り得た。東側に在る従来の、木造二層の校舎が在りしたが、それは代表的な校舎の建設の完成に伴って取りこわされた。まづその木は、鐵の柱であつた。その木は、鐵の柱保護とあたげの漆の塗るものゝ切引とす。これは、登々、雲山山公共用地形成後の復旧センター町として一宮町社会福祉センターに民広場、駐車場とに移し、保存する共に、古いものを大切にす行政に留意しています。

厳しい社会経済
 状態は、体育館
 建設にも影響

よい行政の運用を効率的に推進し、豊かな地域社会を建設するため、懸命に努力していますが、昨年十一月の石油バニック以来の異常物価の高のため、町の行政にも大きな痛手をこうむっていることは事実です。しかし、二宮町社会福祉センターは昨年の十一月三日に竣

議会議事録
建設特別委
会の活動経過

議會は、この種の委員會が設置されてゐたが、これは地方自治に關して、基礎會議を選擇するわけでは、專ら委員會を設置するのことは、専門的な部分をもつて、きめよからず、民意を正確に、それを議會に反映せしめて、民主的社會運動實行をおこなふものとする。

いくつもある委員會と同じく、この市が、まして特別委員會は、より民治に衛生セクターの施設を推進しようとする多くの人の大なる意見の聞き、それの意見と希望など、特別委員會の意見と、望など、問題解決のため、人事をすくし、懸命な努力が払われたいです。

すでに、広報にのみや十一月号で昨年四月以後、町独自で行うようになつてから、十一月までの経過は、お知らせしていただきましたが、本年に入つてからのも、面もいろいろな形となり、よく多くの町民のみなさんも必要事項を現実に、町民一人一人の深刻な理解を、衛生セクターの問題として、衛生セクター建設問題と考えて、いただいています。みなさんの協に感謝します。

人事をつくしての律議と

工場の建設は、石油ニツクが、たゞの石油に「たゞ」なで、異常なまでに完成したため、今のうちに見るみるなみの語で、よほど心配したと思います。

社会福祉センターの建設費は一億七千万円で、総面積は二・六千平方メートルの鉄骨コンクリート二階建ての施設です。これが、いましばらく時期が経てば、一億七千万円が建てられ、万円の建設費では不可能なといえます。

體育館

その他建設費、賃金、労務賃金、
なにもに設備費、材料、労務賃金
の値上げを考えたときでも、
の値上げをたてと考へても、
五百三十千円の値上げ額なり
二億二千四百万円といふこと
になつたのです。

社会福祉センターの問題は、
年の一週にすぎませんが、それか
行なひおとす二、三小松の体
館の建設にしましても、経済の
動のもので、その影響を受け
たが、も有効運動を体行脚す
て最善の努力を払い、一時も
が、そのときでない教育環境の
働いて努力したいと思ひます。

体育館の建築

一、二箇小学校では、児童会館として、館舎と雪隠兼用体育館として併用しては、これは学校体育施設として、この本邦に於ては、全くみななさんには大変不便をかけてきたこととなつた。体育館の建設費は、二、三の多年に渡る議案として、次のような内容で、正式として、議案を議決して、契機の暗躍になつて明瞭にはきません。構造は、鉄骨建築で、総建築面積

施設内容としては、体育室、九平方メートル、スナジシ五平方メートル、更衣室十二平方メートル、職員用平方メートル、そして、玄関、洗面所、放逐室、通路、ボウリング室、十二平方メートルの計四間です。

一宮小小学体育部が特徴としては、室内を明るくするために西側壁面を緑ガラス張りとした。近代的感觉を持ったものであることと利用しやすいことに重きを置いたと云ふ。

つづくしての行状と

特別委員会は、衛生環境をめぐまれた豊後・豊前・小門町より各自招し、活発な活動を展開し、保地元住民との接点や諸団体の協力を得て、環境改善の立地条件について審議した。

一月十日 石田地区への入居者募集の結果候補者を絞って、推薦を図るべきかどうかという意見が示された。

つづいて今後の進め方について

四月二十日 中里地区役員と町
及び特別委員が梅の木地区につい
て話し合いを行なった。
四月二十六日 四月二十日中里
地区役員との話し合い内容等につ
いて審議した。
五月十五日 四月二十八日中里

審議も行なっていますので、その近況についてお知らせし、みなさんのご理解と強力な支援をお願いしますと思います。

一月二十三日 石田地区候補地の内容について審議する。(二色)

一部役員より申し入れがあった。

一月二十九日 石田地区の環境と地勢等について調査し、それに

二月二十日 川句御嶽下地区
茶屋押切地区、中里梅の木地区
一色西谷戸地区の四候補地につ
て道路環境及び周辺住宅状況等
ついて審議した。

三月五日 一色石田地区の搬
道路建設関係について調査し、
議した。

三月三十日 衛生センター建

四月十日 建設予定地選定について再行した調査と研究を重ね建設条件適合すると思われる御嶽地区、中里梅の木地区、一色石田地区の三ヶ所に絞らせていたんだ。

四月十六日 町より中里梅の木地区に衛生センター建設について話し合いを申し入れた。

地区住民の意向について、その状況と今後の進め方について審議した。

五月三十日 再度中里地区と話し合い方法と今後の対策を審議した。

六月五日 六月一日中里地区より決議書が提出され、その内容と今後の推進方法について審議した。



神奈川県に民間少年補導員

っており、あたかも低年齢化の傾向は一層強まり県下の統計によると児童、生徒の非行は少年非行の七割を占めるといわれ心を痛めているのが現状です。

大蔵管内が受持ち区域で、県下でも対象少年の少ない

町でも七月中頃から八月にかけて、青少年関係団体が協力して、愛のバトロールを毎年実施されておりますが、これから迎える長い夏休みを心身共に健康で、少年の日の楽しい思い出に残るように、温かい愛の一声運

小さな灯を、キヌ細かい行政により、より大きな輪にひろげていた。またいっすもです。また青少年健全育成といふことは選挙の時の公約用語に終わらないように、みんなの力で明るくたくましく青少年を育てる努力を

こんにちは
和田です

ところがいわれながら、法に達する行為、「犯行為」警察の世話になるケースがあり、こゝに於ける少年達ととりまゝ家庭環境や友人関係その他いくつかの「環境点」からみ合い、「感受性」の強いこの世代の少年捕専の「すずかしさ」を痛感しております

私の住んでゐる下浜では、十年ほど前から毎土曜日の午後、母親クラブの方々の奉仕活動によるミニ図書館が開かれ、子どもの余暇指導に一役買つていますが、こうして地域に芽生えた

は、ホッと安らぎを感じいつまでも静かな町であって欲しいと、願わずにはいられません。

民団少年補導員、大隅少年愛護会々長

和田 光世

5